様式１

授業科目　人間発達学

【担当教員名】	対象学年	２年	対象学科	理学
山田好秋	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	１	時間数	３０

【概要及び学習目標】

概要

人間は誕生後成長し、やがて老化する。この科目では人間の加齢現象を解剖学的・生理学的・精神発達学的観点から講義する。

学習目標

理論的知識のみならず発達障害児ならびに高齢者に対する実際的な観察やアセスメントの基盤となる知識を学ぶ。

回数	学習の主題	学習内容	学習方法
１	人間発達学総論	人間発達学の学習意義	講義
２	誕生	受精から出生までの発達過程	
３	身体発達	身体の形態的成長ならびに主要な臓器の発育	
４	運動機能の発達	新生児の反射、随意運動の発達、運動発達に関与する因子	
５	脳の発達	脳の発生、発育、比較解剖	
６	感覚機能の発達	味覚・嗅覚・触覚・視覚・聴覚	
７	認知機能の発達	パターン認識、幼児の知覚の特徴	
８	高次機能の発達	記憶・学習・言語、知能の評価とその意味	
９	情緒の発達	情動の発現機構、情緒の発達に関与する因子	
１０	社会性の発達	社会性とは、交友関係の発達、社会性の研究	
１１	幼児期・青年期の発達	パーソナリティの形成・発達、青年期の区分、青年各期の特徴	
１２	老化	加齢に関する諸説、老化による身体的変化	
１３	成人期・老年期	成人期の特徴、成人期の定義と区分、老年期の定義と特徴	
１４	事例検討	成長	小グループ討議
１５	事例検討	老化	

【評価方法】

毎回提出するレポートを中心に、最後の２回に実施する小グループ討議の活動状況を総合的に評価する。

【履修上の留意点】

常に生理学・解剖学の教科書を参考書として持参すること

【使用図書】

教科書・参考書別	書名	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	人間発達学	上田礼子	医歯薬出版	２９５０円